

## 食の郷あさひを全国にPR

### 第1回旭市向太陽杯（パークゴルフ大会）

より多くの人たちに、パークゴルフを楽しみながら食の宝庫である旭市の魅力を知ってもらおうと、2月27日と28日の二日間、全国から参加者を募ってパークゴルフ大会が開催されました。初日はあいにくの雨となりましたが、男女合わせて160人の参加者は昼食に用意された熱々のチャーシューメンやとん汁で体を温めながら、元気にプレーしていました。また、二日目の食事にも、マイワシの塩焼きや高級霜降り牛肉を使ったバーベキュー、太巻きずし、米粉シチューなど市の特産品を使った料理が振る舞われ、食の郷あさひを堪能していました。県外から参加した男性は、「旭はいいところだね。また遊びに来るから」と笑顔で会場を後にしました。



▲地元産の豚肉で作ったやわらかチャーシューが好評だったチャーシューメン



▲雨の中でも元気にプレー



▲たくさんの料理に参加者も笑顔

## 東 総地域の農・畜・水産物がズラリ！

### フレッシュフード海匠見本市

海匠の農水産物や食を一堂に集め、市場関係者や食品製造業者、消費者へのPRとそのニーズを把握しようと、2月20日、いいおかユートピアセンターでフレッシュフード海匠見本市が行われました。約230人が訪れた会場には、旭市を始め海匠地域を代表する100種類ほどの農水産物などがズラリと並べられ、生産者との商談や活発な意見交換が行われていました。また、午後3時からは、認定農業者などを対象に営農セミナーが行われ、講演した株伊藤忠商事の鶴島孝保さんは「企業と農業者が互いにできること、できないことをしっかり認識したうえで連携し、それをしっかり守ることが大切」と話していました。



▲各展示ブースでは活発な意見交換がされる

## 安 心の地域医療を目指して

### 東総文化会館で医療シンポジウム

▶ パネルディスカッションで地域医療現場の問題点を吉田田病院長を説明する旭中央病院の吉



公立病院の役割や旭中央病院の医療体制の在り方などを考える地域医療シンポジウムが、2月21日、東総文化会館で開催されました。第1部では自治体病院の現状や地域医療ネットワークなどについて、吉田秀一さん、松山幸弘さんが基調講演を行いました。第2部では、地域病院の将来像をテーマにパネルディスカッションが行われ、医師の確保と病院の連携などについての討論がなされました。また、シンポジウムの最後には質疑応答の時間が設けられ、「中央病院の民営化はあるのか」という質問に市長は、「病院の中がまとまることが大切であり、私から積極的に民営化にすることはしない。地域の皆さんが安心して医療を受けられる体制を進め、中央病院を生かしたまちづくりを進めたい。」と答えていました。

## 真 剣な表情で防犯対策を学ぶ

### 旭市民会館で防犯講演会

市民への防犯意識の啓発と、防犯パトロールの推進を図ろうと2月20日、旭地域で防犯活動をしている旭市エンジョイパトロール隊が防犯講演会を開催しました。この日は、パトロール隊のメンバーなど100人が参加。年間の活動報告や意見交換がされたほか、旭警察署の岡田生活安全課長を招いて、市内の犯罪状況や振り込め詐欺を中心とした防犯対策などの講演が行われ、参加者は真剣な表情で話に耳を傾けていました。



▲犯罪を未然に防ぐためには地域の連携が大切と話す岡田生活安全課長